

第36号

平成21年12月

九大病院だより

九州大学病院
広報委員会発行

TAKE FREE! ▶ 九大病院だよりは患者さん向けの広報紙です。ご自由にお持ち帰りください。

再生歯科・インプラントセンターのご紹介



この9月に開院した新外来診療棟の4階に再生歯科・インプラントセンターを開設しました。再生歯科治療ならびに歯科インプラントにかかわる専門のスタッフが治療を担当します。

当センターでは本院歯科部門の先進医療を結集し、歯科インプラント治療と歯周組織再生・顎骨（がっこつ：あごの骨のこと）再生治療を行います。専任スタッフとして、口腔外科医2名、歯科麻酔医1名、補綴（ほてつ：歯の

欠損などをクラウンなどで補修すること）科医2名、看護師1名、歯科衛生士1名を配置しています。また、必要に応じて各科の歯科医師も連携してチームで治療にあたります。高度で先進的な治療技術が必要な症例にも対応していて、ご高齢の方、全身疾患がある方、不安の強い方でも、専任の歯科麻酔医が全身状態を管理しながら、より安全で確実な治療を行う体制を整え

ています。治療終了後も長くおいしく噛（か）んでいただくために、インプラント専門衛生士がお口のケアを行います。

交通事故や腫瘍切除後など大幅に顎骨を喪失し、従来の義歯やインプラントによる治療が困難な症例に対しては、高度先進医療としてのインプラント治療の適用も行っていきます。*

インプラント手術室3室、一般歯科診療室8室を備えた診療室は完全個室

で、プライバシーにも配慮しています。

初診の方も随時受け付けています。歯科インプラント治療を希望される方、ご検討中の方は当センターへお気軽にご相談ください。



お問い合わせ

▶▶ 再生歯科・インプラントセンター
TEL 092-642-6361
FAX 092-642-6387
受付 9:00-16:00(予約制)

*高度先進医療としてのインプラント治療

<http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/dent/105/index.html>

Column

コラム

職員ボランティア

当センターの職員ボランティアは、平成13年頃に病院敷地内の草取りをすることから始まりました。当初は2、3名でしたが、現在の形に整ったのは平成17年4月です。毎週第1木曜日に勤務終了後の1時間と決めて、病院内外の清掃を行っています。

1週間前になると、入職1年目の看護師が案内用紙を手に入部署を回り、参加を呼びかけます。厚生委員は当日、ほうきや雑巾、ごみ袋、軍手など必要な用具を準備します。夏は虫よけスプレーもあり、本当に行き届いています。昨年は退官記念パーティーの折に、退職者が厚生委員長へ清掃用具をプレゼントするというサプライズもありました。

総看護師長
[別府地区]いちみやまりこ
一宮マリ子

Mariko Ichimiya

毎回各部署から15名程度の参加があり、一緒に掃除をすることで他部署の職員と話す機会になり、親しみもわいてきます。

今は、病院の落ち葉が道路に散っているので、病院周囲を掃いていますが、月1回では申し訳ない程の大量の落ち葉です。終了後、厚生委員のメンバーは、軍手についた小さなゴミを取り除き、洗濯して次に使えるように準備までしてくれます。

人のために役立つこと、困ったことを何とかしたいという気持ちが職員ボランティア活動を通して根付き、病院の将来のためにも、この活動が続いてくれることを願っています。

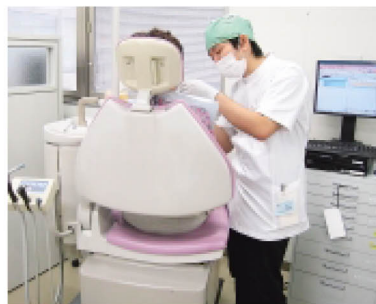
歯科人間ドック

歯科人間ドックは、虫歯や歯周病を見つけるだけでなく、噛み合わせや顎（あご）の関節の具合、さらにはお口周りのがん検診など、総合的に口口の検査を行います。

口の状態をチェックし健康に保つことで、できるだけ長く自分の歯で食事ができるよう、お手伝いさせていただきます。また、口の状態から全身のいろいろな病気がわかることもあり、からだ全体の健康管理にもつながります。

歯科人間ドックは、およそ90分を目安に歯や歯ぐき、口周りの基本的なチェックを行う一般コースと、専門的な9つのオプションメニューがあり、それぞれ専門の歯科医師が検査を担当します。

2週間後、検査結果をまとめた報告書をもとに説明を行い、予防や治療に関するアドバイスはもちろん、ご希望



があれば九州大学病院の専門診療科をご紹介します。

お問い合わせ ▶▶ 先進予防医療センター
TEL 092-642-5746

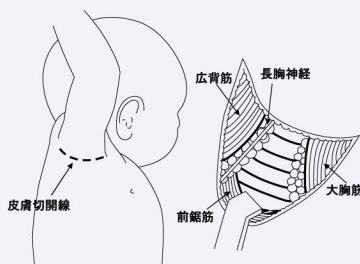
診療科ご紹介

今回は、小児外科をご紹介します。

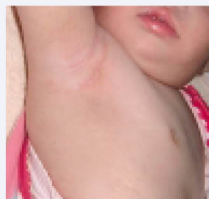
小児外科は、子どもの手術を必要とする病気や、便秘、腹満、嘔吐など小児の消化器の病気を広く扱っています。小児といっても診療対象はひろく、新生児から思春期の18歳まで治療しています。

病気の種類は極めて多彩で、頸部、胸部、腹部、小児泌尿器や婦人科領域も扱っています。小児の肝移植はすでに50例を突破し、全国でも有数の小児肝移植施設です。リンパ管腫やガマ腫（唾液腺に生ずるのう腫）の治療としてピシパニール局注による硬化療法も行っています。

小児外科では傷の目立たない手術をモットーとしており、内視鏡手術や従来のシワを利用した切開法



食道閉鎖症に対する右腋窩鏡切開法。術後の傷はシワに隠れて目立たない



術後10か月

などを実施しています。たとえば鼠径ヘルニア（脱腸）や虫垂炎（盲腸）は腹腔鏡による手術、食道閉鎖など胸部手術は腋窩（えきか：わきの下）のシワ、腸閉鎖など腹部手術は臍（へそ）のシワを切開するので、術後の傷は全くわかりません。

別府先進医療センターのご紹介

検査室

当検査室では、“精密で正確、迅速な検査を通して患者さんケアの向上に貢献する”という理念のもとに、外来での診療前検査や勤務時間外検査を、呼び出し体制のもと24時間対応しています。

また、新しい検査法や診断法の導入にも積極的に取り組んでいて、研究部門と数々の共同研究を行っています。現在、総合検査室（化学、血液、凝固、血清および輸血検査）、尿検査室（尿検査、便検査）、細菌検査室（培養・同定・薬剤感受性検査）、生理機能検査室（心電図・肺

機能検査など）、病理検査室（病理組織検査、術中迅速病理組織検査、細胞診検査）の5つの検査室で、診療に不可欠な検査業務を行っています。

その他に検査技師養成学校の実習生を受け入れ、人材育成や検査技術の普及発展に努力しています。

30年以上に及ぶ「学生実習」の受け入れ

昭和42年度より大分臨床検査技師専門学校の病院実習を毎年受け入れています。

第2回 家庭でできる健康管理

—適度な運動と手洗い・うがいで、風邪対策!—

健康科学センター 健康科学第一部門 林 直亨

運動をすると風邪をひきにくくなり
そうな気がします。ところが、運動部
所属の生徒は他の生徒よりも風邪をひ
く割合が高いことが知られています。

これは、適度に運動していると免疫
力は強くなるけれど、運動しすぎると
免疫力は逆に弱くなるため、と考えら
れているからです。『過ぎたるは及ば
ざるが如し』、健康のためには、ウォー
キングやジョギング程度の適度な運動
を定期的に行いましょう。

ところで、運動すること自体で、さ
まざまなバイキンと触れ合う機会が増
えます。そのため、運動している人が

風邪をひく理由は、運動した時に体内
へ入り込もうとするバイキンがトータ
ルで多くなるからだ、とも指摘されて
います。

風邪のウイルスは体温より少し低い
温度の方が増殖しやすくなるので、運
動時に外気に直接さらされるノド・鼻
でウイルスが増殖するチャンスが増え
てしまいます。

健康維持・増進のために定期的に運
動している方も、風邪やインフルエン
ザの感染防止のために、運動が終わっ
たら手洗い・うがいを徹底しましょう。



● 新型インフルエンザ ●

インフルエンザウイルスにはA型
とB型があり、A型は遺伝子に
変異を起こしやすく、大きく変異し
たウイルスに対しては抵抗力を持つ
ヒトが少ないため世界的流行を引き
起こすこととなります。

現在流行中の新型インフルエンザ
はA型で、ウイルスの遺伝子型とし
ては1918年に世界中で流行したス
페인風邪に似ており、豚で蔓延して
いたウイルスです。この新型イン
フルエンザの特徴は、上気道（鼻、の
ど）から速やかに下気道（気管支、
肺）にウイルスが入っていくため、

鼻やのどの奥の粘膜で判定
する迅速診断キットでは陰
性であることも多く、また、
肺炎を起こしやすいともい
われていますので、早めの
治療をお勧めします。

わが国では初期治療が
しっかりとなされているた
め、他の国に比較して重症
化例や死亡例が少ないとさ
れていますが、帰宅時の手
洗い・うがいで感染予防を
実践することも大切です。



4～8名程度の実習生を前期（4～7月）、後期（9
～11月）の期間に分けて、約3か月間の実務実習を行っ
ています。

実習は、各部署の担当技師の指導のもと、検体の取り
扱い方をはじめ、一般検査、血液検査、生化学検査、免
疫血清検査、細菌検査、病理組織検査、細胞診検査、生
理機能検査などの見学と技術習得を中心に実施しています。

また、平成元年より他のコ・メディカル部門等の見学
を行っていて、臨床検査技師以外の他職種に対する知識

と理解を深め、
「チーム医療
に不可欠な臨
床検査技師」
の育成と教育
を目指してい
ます。



本院の外来のお薬は原則として 院外処方としています。

「院外処方せん」にすると

1. 都合の良い時間にお薬を受け取ることができます。
2. 「かかりつけ薬局」を持っていただくことで、他の病院から処方された薬や薬局で購入する大衆薬との飲み合わせや、成分が重複していないことを確認してもらえます。
また薬剤アレルギー歴の管理などにより、お薬を安全に使用することができます。
3. お薬の飲み方や副作用などのご相談や、丁寧な説明がゆっくり受けられます。
4. ジェネリック医薬品（後発医薬品）を選択できます。



正面玄関横の「院外処方せん受付」をご利用ください。

外来診療日一覧

お問い合わせは、下記の診療科等に直接お電話願います。
(市外局番は「092」です)

棟	階	診療科名(電話番号)	初診日	再診日
西	4階	心療内科 (642-5335)	月・木	火・水・金
		呼吸器科 (642-5388)	月・水・金	月・火・水・金
		消化管外科(1) 胆道、脾臓、脾臓・腎臓移植外科	火・木	火・木
		呼吸器外科(1)	火・木	火・木
		乳腺外科(1)	月・水・金	月・水・金
		内分泌外科 (642-5453)	月・水・金	月・水・金
		消化管外科(2) 肝臓、脾臓、門脈、肝臓移植外科	月・水・金	月・水・金
		呼吸器外科(2)	月・水・金	月・水・金
		乳腺外科(2)	月・水・金	月・水・金
		血管外科 (642-5479)	月・水・金	月・水・金
東	4階	先端工医学診療部 (642-5993)	月・水・金	月・水・金
		産科婦人科 (642-5409)	月・水・金	月・水・金
東	4階	ヘインクニック(麻酔科蘇生科) (642-5719)	月・火・水・金	月・水・金
		再生歯科・インプラントセンター (642-6361)	月・水・金	月・水・金
西	3階	内科	月～金	月～金
		血液・腫瘍内科	月～金	月～金
		免疫・膠原病・感染症内科	※曜日によっては専門医が診療できない場合があります。	月～金
		消化管内科	月～金	月～金
		腎・高血圧・脳血管内科	月～金	月～金
		内分泌代謝・糖尿病内科	月～金	月～金
		肝臓・脾臓・胆道内科	月～金	月～金
		先端分子・細胞治療科 (642-5302)	月～金	月～金
		小児科 (642-5430)	月～金	月～金
		小児科(小児腫瘍外科) (642-5578)	月・水・金	月・水・金

棟	階	診療科名(電話番号)	初診日	再診日
3階	東	ハートセンター外来 循環器内科 血液・腫瘍内科 (642-5371)	月～木 火～金	月・水 火～金
		心臓血管外科 (642-5565)	月・水・木	水・木
		皮膚科 (642-5597)	月・水・金	火・木
		耳鼻咽喉科・頭頸部外科 (642-5681)	火・木	月・水・金
		神経内科 (642-5349)	火・木・金	月・水
		脳神経外科 (642-5533)	月・水・金	月・水・金
		泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 (642-5615)	火・木	月・水・金
		精神科神経科 (642-5640)	火・木	月～金
		子どものこころの診療部 (642-5642)	火・木	月～金
		眼科 (642-5660)	月・水・金	月～金
西	2階	整形外科 (642-5504)	月・水・金	金
		放射線科 (642-5705)	月・水・金	月～金
		総合診療科 (642-5300)	月～金	月～金
		小児科 (642-5430)	月～金	月～金
		小児科(小児腫瘍外科) (642-5578)	月・水・金	月・水・金
		臨床遺伝医療部 (642-5421)	月～金	金
		小児歯科 (642-6465)	月～金	月～金
		矯正歯科 (642-6460)	月～金	月～金
		小児科 (642-5430)	月～金	月～金
		小児科(小児腫瘍外科) (642-5578)	月・水・金	月・水・金

棟	階	診療科名(電話番号)	初診日	再診日
5階	東	全身管理歯科 (642-6483)	月～金	月～金
		顎口腔外科 (642-6445)	月～金	月～金
		顔面口腔外科 (642-6450)	月～金	月～金
		歯科麻酔科 (642-6479)	月～金	月～金
		歯周病科 (642-6425)	月～金	月～金
		歯内治療科 (642-6430)	月～金	月～金
		咬合補綴科 (642-6435)	月～金	月～金
		義歯補綴科 (642-6440)	月～金	月～金
		歯科総合予診 (642-6500)	月～金	月～金
		口腔画像診断科 (642-6471)	月～金	月～金
5階	北棟	口腔総合診療科 (642-6490)	月～金	月～金
		全身管理歯科 (642-6483)	月～金	月～金
		顎口腔外科 (642-6445)	月～金	月～金
		顔面口腔外科 (642-6450)	月～金	月～金
		歯科麻酔科 (642-6479)	月～金	月～金
		歯周病科 (642-6425)	月～金	月～金
		歯内治療科 (642-6430)	月～金	月～金
		咬合補綴科 (642-6435)	月～金	月～金
		義歯補綴科 (642-6440)	月～金	月～金
		歯科総合予診 (642-6500)	月～金	月～金
4階	東	口腔画像診断科 (642-6471)	月～金	月～金
		口腔総合診療科 (642-6490)	月～金	月～金
		全身管理歯科 (642-6483)	月～金	月～金
		顎口腔外科 (642-6445)	月～金	月～金
		顔面口腔外科 (642-6450)	月～金	月～金
		歯科麻酔科 (642-6479)	月～金	月～金
		歯周病科 (642-6425)	月～金	月～金
		歯内治療科 (642-6430)	月～金	月～金
		咬合補綴科 (642-6435)	月～金	月～金
		義歯補綴科 (642-6440)	月～金	月～金
4階	西	全身管理歯科 (642-6483)	月～金	月～金
		顎口腔外科 (642-6445)	月～金	月～金
		顔面口腔外科 (642-6450)	月～金	月～金
		歯科麻酔科 (642-6479)	月～金	月～金
		歯周病科 (642-6425)	月～金	月～金
		歯内治療科 (642-6430)	月～金	月～金
		咬合補綴科 (642-6435)	月～金	月～金
		義歯補綴科 (642-6440)	月～金	月～金
		歯科総合予診 (642-6500)	月～金	月～金
		口腔画像診断科 (642-6471)	月～金	月～金
4階	南棟	ストーム看護外来	642-5479	
		助産師外来	642-5900	
		糖尿病フットケア外来	642-5302	
		外来化学療法室・緩和ケア がん相談支援室	642-5125	
		総合案内	642-6270	
		外来受付	642-5138	
		入院案内	642-5150	
		公費申請窓口	642-5153	
		支払窓口	642-5169	
		患者様相談窓口	642-5132	
地域医療連携センター	642-5165			
社会福祉相談窓口	642-5167			
在宅療養支援室	642-5185			
高度先端医療センター	642-5858			
栄養相談室	642-5180			
時間外受付	642-5163			
リハビリ受付	642-5862			

● 休診日
土曜日、日曜日、
祝日、
年末年始
(12/29～1/3)

● 受付時間(窓口)
8:30～11:00
自動再来受付機
8:15～17:00

● 外来玄関開閉時間
7:30～18:00

● 歯科部門
受付時間
初診
8:30～11:00
再診
8:30～15:00
(矯正歯科は、
8:30～16:00)

注意

● 再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となる場合がありますので、あらかじめ受診科「外来」にお確かめ願います。

平成21年12月現在

病院にお越しの際は**保険証**をお忘れなく！ ※保険証の提示がない場合には、保険の取扱いができません。

外来患者さんへ 本院のお薬は原則として「院外処方」としています。「院外処方せん発行」にご協力ください。

病院の理念 患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】

基本方針

- 1 地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
- 2 プライマリ・ケア診療の充実
- 3 全人的医療が可能な医療人の養成
- 4 専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
- 5 国際化の推進

携帯電話からも九州大学病院ホームページの診療案内・診療日案内・交通案内が閲覧できます。アドレスは <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp> です。

外来患者さん用の駐車場を準備していますが、駐車台数が限られていますので出来るだけ公共交通機関をご利用いただきますようご協力願います。

092-641-1151(代表)
092-642-5163時間外受付
〒812-8582
福岡市東区馬出3丁目1番1号